News Letter
ニュースレター

名古屋銀行
Bank of NAGOYA

2023 年 2 月 2 日

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界を変えるための17の目標

「めいぎんポジティブインパクトファイナンス」の契約締結について
～株式会社保坂工業所のサステナブル経営をサポート～

名古屋銀行（頭取 藤原 一朗）は、株式会社保坂工業所（代表取締役 保坂 光俊）と「めいぎんポジティブインパクトファイナンス」の契約を締結いたしましたのでお知らせします。

当行は、今後もグループ一体となり、銀行の既存のビジネスモデルに捉われない持続可能な収益機会の創出及び付加価値の高いサービスを提供し、さまざまなお客さまの経営課題解決を通じて地域社会とともに未来を創造してまいります。

記

1. 契約締結日　2022 年 12 月 28 日（水）
2. 融 資 金 額　100 百万円
3. ﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ期間　5 年
4. 資 金 使 途　事業資金
5. PIF 評価書　添付資料をご参照ください。

※株式会社格付投資情報センター（R&I）のセカンドオピニオンは、下記 URL をご参照ください。
https://www.r-i.co.jp/rating/esg/index.html

6. 株式会社保坂工業所の概要

代　表　者	保坂 光俊
本社所在地	愛知県名古屋市東区泉二丁目 13 番 10 号
業　　種	土木工事業
創 業 年 月	1923 年 9 月

＜記念盾贈呈式の様子＞

株式会社名古屋銀行
常務取締役 服部 悟

株式会社保坂工業所
代表取締役 保坂 光俊氏

※写真撮影時のみマスクを外しております。

参考：「めいぎんポジティブインパクトファイナンス」の取り扱い開始について
https://www.meigin.com/release/files/20220111meigin_PIF.pdf

以 上

ポジティブインパクトファイナンス評価書

～株式会社保坂工業所～

2023 年 2 月 1 日

株式会社名古屋銀行
法人営業部　法人コンサルティンググループ

はじめに

株式会社名古屋銀行は、株式会社保坂工業所に対し、めいぎんポジティブインパクトファイナンス（以下、めいぎん PIF）を実行した。

本件取組にあたって、株式会社名古屋銀行は国連環境計画金融イニシアティブ（以下、UNEP FI という。）が策定した「ポジティブインパクト金融原則」及び、環境省が策定した「インパクトファイナンスの基本的考え方」に則り、株式会社保坂工業所の企業活動における包括的なインパクトを分析し、充実したサステナビリティ経営に向けた KPI を設定した。

借入人概要

借入企業	株式会社保坂工業所
所在地	名古屋市東区泉二丁目 13-10
従業員	167 人
売上高	3,229 百万円
事業内容	ガス本支管工事・舗装工事、ガス維持供給工事、ガス屋内配管工事設計施工、上下水道工事

融資条件概要

融資形態	証書貸付
融資金額	100,000,000 円
資金使途	運転資金
融資・モニタリング期間	5 年

目次

1. 企業情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
①会社概要
②沿革
③事業概要
④企業理念

2. 事業内容・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
①ガス屋内配管工事設計施工
②ガス維持供給工事、ガス本管支管工事・舗装工事
③震災復興支援
④施工実績（2022 年 3 月期）

3. その他の活動・CSR 活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8
①従業員への取組
②地域活動への貢献
③SDGs 宣言

4. インパクトの特定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
①インパクトマッピングによるインパクト分布
②インパクト分布図
③国内のインパクトニーズ

5. 測定する KPI・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14
①ポジティブインパクトの拡大
②ネガティブインパクトの縮小

6. インパクト管理体制・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16

7. モニタリング方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16

8. 総括・・16

１．企業情報

①会社概要

会社名	株式会社保坂工業所
創業年月	1923 年 9 月
設立年月	1952 年 5 月
資本金	60,000,000 円
代表者	代表取締役　保坂　光俊
決算日	3 月 31 日
従業員数	167 名
本社所在地	名古屋市東区泉二丁目 13-10
事業本部	名古屋市守山区苗代一丁目 1-29
春日井支店	春日井市鳥居松町六丁目 192-7
事業内容	ガス本支管工事・舗装工事、ガス維持供給工事、ガス屋内配管工事設計施工、上下水道工事

HOSAKA

事業本部

②沿革

年月	概要
1905 年	名古屋瓦斯（東邦ガスの前身）の製造設備建設工事を開始
1920 年 9 月	名古屋市東区下竪杉町に保坂鉄工所名古屋出張所として営業所を設置する
1923 年 9 月	関東大震災を契機に東京の鉄工所を廃業し保坂工業所として発足 東邦ガス（株）工事代理店を主体にガス配管工事業として、各地のガス工事を請負う
1952 年 5 月	株式会社　保坂工業所に改組
1958 年 4 月	東区下竪杉町から同区泉に移転
1963 年 6 月	守山支店を開設　ガス本支管工事を主体に業務を行う
1976 年 3 月	春日井支店を開設　尾張地域を対象にガス内管工事、供給工事を行う
1980 年 11 月	名古屋通商産業局長よりガス工事の安全保安の確保が優秀と認められ通産局長賞受賞
1981 年 2 月	通商産業大臣よりガス工事におけるガス保安の功労が認められガス保安功労賞を受賞
1981 年 7 月	中切営業所を開設　ガス給湯器など住宅設備に関わるガス工事を行う
1982 年 2 月	通商産業大臣よりガス工事の保安対策が優秀と認められガス保安功労賞を受賞
1989 年 9 月	三好営業所を開設　三河地域を対象にガス内管工事、供給工事を行う
1995 年 1 月	阪神大震災復旧支援（ガス復旧工事）に派遣
2007 年 3 月	名古屋市エコ事業所に認定
2007 年 8 月	中越地震災害復旧支援（ガス復旧工事）に派遣
2008 年 7 月	中切営業所を北区楠に移転し、営業所名を北営業所に変更
2010 年 11 月	愛知労働局長より雇用の積極的な改善活動が認められ、建設雇用改善優良事業所愛知労働局長表彰を受賞
2011 年 3 月	東日本大震災復旧支援（ガス復旧工事）に派遣
2011 年 6 月	北営業所を守山支店内へ移転
2013 年 4 月	春日井支店を春日井市鳥居松町へ移転
2013 年 8 月	本社事業部門を守山支店へ移転し、「事業本部」として業務開始
2013 年 10 月	三好営業所を「事業本部」に統合
2016 年 4 月	熊本地震災害復旧支援（ガス復旧工事）に派遣
2018 年 6 月	大阪府北部地震復旧支援（ガス復旧工事）に派遣
2019 年 3 月	名古屋市優良エコ事業所に認定
2021 年 6 月	SDGs 宣言
2023 年 9 月	創業 100 周年

③事業概要

当社は 1923 年創業であり、2023 年に 100 周年を迎える業歴を有し、創業以来愛知県のライフラインを支え続けている。創業初期には地方の新設ガス会社の配管工事を受注し、北海道から九州まで十数社を施工、現在は東邦ガスネットワークの工事会社の一員として、都市ガスの配管整備を主要事業としている。住宅やマンションに加え、大型施設のガス管工事の施工実績は 100 万件を超え、県内有数であり、業歴の長さに裏打ちされた技術力と安全性を備えた業務内容は大きな信頼を得ている。

上記のインフラ整備に加え、災害時には復旧応援部隊を派遣し、阪神淡路大震災や東日本大震災の際には都市ガスの安定供給に寄与してきた。

エネルギーシステム改革により電気とガスの小売り全面自由化がスタートし大きな転換期を迎えた中、当社はこの環境変化にいち早く対応できる経営力の強化と人材教育に力を入れている。

施工実績

ナゴヤドーム

イオンモール長久手

金城学院大学

国立長寿医療研究センター

④企業理念

当社は、「人々の暮らしを支えること」を使命として業歴 100 年以上に渡りガス工事に携わってきた。そのノウハウは社内の幅広い世代に技術継承されており、「安全・安心・品質の確保」を全従業員が意識した体制づくりを徹底している。

２．事業内容

当社の事業はガス管工事設計について、ガス屋内配管工事設計施工、ガス維持供給工事、ガス本管支管工事・舗装工事、住宅ガス設備・ガス器具販売、上下水道工事と別れているが、それぞれが相互的に作用しており、内管設備工事部、維持供給工事部、管理部、営業部、本管部等が連動することでガス管工事のトータルサポートを展開している。

大型商業施設の基礎ガス管工事から、マンションのガス管維持管理、緊急を要する事案にも万全の対応を整えている。

また、上下水道工事については、名古屋市や春日井市からの受注もあり、交通インフラに対しても、当社のメンテナンス力が大きく貢献している。

①ガス屋内配管工事設計施工

住宅、マンション、商業施設等のガス配管工事の設計施工を実施、フレキシブル工法など、常に新しい技術を導入し、安全・確実な工事、工期の短縮・コストダウンで世の中のニーズに対応する。マンションや戸建住宅においては主にガスメーターや給湯器、床暖房、ガスコンロの設置作業に加え、これらの機器を使用できるようにするためのガス配管が中心となる。

ポリエチレン管、VL 管、白管、フレキシブル管などの用途に応じた配管材料で安全な施工を実施する。

また、工程表や安全書類の作成、確定図面の確認を徹底して行い、安全管理や作業効率の安定、作業内容の共有を行う。

②ガス維持供給工事、ガス本管支管工事・舗装工事

供給管（本支管と屋内管とを結ぶ管）の配管工事、古くなった屋内配管の取り換え工事を実施、道路などの下にある都市ガスの大動脈である本管の供給地域の拡大にともなう新規の埋設や古くなった本支管を新しくする工事を行う。

③震災復興支援

当社は、日本国内で震災が発生した場合、東邦ガスを通じて災害復興支援を実施している。具体的には損傷したガス管の復旧やガス漏れ等の点検、復旧に時間を要する場合は土砂や漂流物の回収等も実施する。

災害発生後 1～2 日で約 20 名の従業員を現地に派遣するが、これは当社の技術者の約 20%にも相当する。阪神淡路大震災をはじめとし、国内で起こった大規模地震のほぼすべてに派遣している。当社は派遣する従業員に対し、電子レンジや食料、衣服等を提供し、極力現地の負荷にならないよう、また二次災害に備えた従業員保護の観点からも安全面において徹底した準備を施す。

災害現場で復旧活動を行った従業員は当社の社会的使命を感じ、より大きな責任感とインフラ整備の重要性を胸に秘め、業務にあたっている。

復興支援時の様子

④施工実績（2022 年 3 月期）

・ガス屋内配管工事

メーター工事	約 25,400 件
新設戸建て工事	約 1,650 件
新設マンション・大規模工事	約 400 件
入替工事他	約 2,800 件

・ガス供給管工事

新設供給管工事	約 3,000 件
入替工事他	約 1,000 件

・ガス本支管工事

本管工事延長	27.3 km

３．その他の活動・ＣＳＲ活動

①従業員向けの取組

教育研修

まずは研修により基本的なスキルを習得する。研修においては教育担当者が器具の使用方法から一日の作業の流れ等をきめ細かく教育を行う。

基礎的な研修後、現場に配属されるが、ここにおいても先輩従業員や同じ部の従業員からのフォローが徹底されている。

おおよそ 2 年間を目途としたプロの技術習得により、技能士としてのスキルを確立させ、更なる能力向上へ向けステップアップする。この一連の教育スタイルを従業員に浸透させ、新入社員の定着率向上を図っている。

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	所属名	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	年間総合
124	営業部	0:00	1:00	0:30	0:30	2:30	0:30	3:00	3:30	3:30	3:30	0:30	0:30	19:30
125	営業部	0:00	2:00	0:00	0:00	2:00	4:30	10:00	13:00	10:00	16:00	17:30	19:00	96:00
126	営業部	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	1:30	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	1:00	2:30
127	営業部	18:30	8:30	17:00	24:30	17:30	12:00	20:30	25:00	13:30	18:30	12:00	8:00	195:30
128	営業部	7:00	10:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	8:00	0:00	16:00	0:00	0:00	41:00
129	管理部(伊丹)	5:00	0:00	0:00	0:00	0:00	1:30	7:00	0:00	0:00	1:30	2:00	12:30	29:30

残業管理

残業管理体制も徹底して整備されている。

部署ごとの残業や、季節要因による偏りを分析し、残業の削減、業務の平準化を心掛けた業務管理を行っている。

②地域社会への貢献

当社は、事業本部を中心として地域貢献活動にも精力的に取り組んでいる。交通安全啓蒙や防犯のためのパトロールや、児童の登下校の時間における通学路の交通安全整理により、地元教育機関との連携を図りながら地域の安全・安心に貢献している。また、自社周辺の清掃活動も精力的に行い、地域美化に取り組んでいる。

交通安全・防犯活動

また、名古屋市内を中心に活動するＦＣ．ＤＲＥＡＭ（少年サッカーチーム）のスポンサーとして協賛し、地元スポーツの振興、発展にも寄与している。

環境面においては業務におけるごみの分別処理を徹底して行うほか、従業員への環境配慮に対する認識も日常から意識づけている。

分別、廃棄物削減

③ＳＤＧｓ宣言

当社は 2021 年 6 月にＳＤＧｓ宣言を策定、自社ＨＰにおいても公開している。内容は 4 項目に大別され、それぞれ人権雇用、社会貢献、環境対策、コンプライアンスの推進となっている。本事業や社会貢献活動事業の実態は上記項目に適合した取り組みとなっており、後述のＫＰＩについても当社の宣言を踏まえて設定する。

HOSAKA

ＳＤＧｓ宣言

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標（ＳＤＧｓ）」に賛同し、
ＳＤＧｓの達成に向けた取組みを行っていく事を宣言します。

２０２１年６月１日

株式会社保坂工業所　代表取締役　保坂　光俊

SDGs の達成に向けた取組み

人権雇用

全社員が仕事にやりがいを持ち、年齢性別に差別のない働きやすい職場環境の構築を実現してまいります。

《具体的な取組み：時短勤務及び時差出勤制度の導入、定時退社を奨励、
現出・現退、テレワークの奨励、
年間有休取得５日以上の奨励、くるみん認定の取得》

社会貢献

「人々の暮らしをささえること」が創業当初から受け継いできた当社の使命であり、企業の社会的責任を果たすため、ボランティア、防災活動への参画等を行い、地域社会に貢献してまいります。

《具体的な取組み：東山動植物園への寄付、震災時の復旧応援隊の派遣、
インターンシップの受入れ》

環境対策

インフラ整備のための工事技術ノウハウを通して、環境保全や汚染予防に取組み、自然環境に配慮した企業運営に努めてまいります。

《具体的な取組み：守山区事業本部でのＬＥＤ照明、太陽光パネル導入、
約１２０台の車両を保有しエコドライブ推奨、
インフラ事業で発生する廃棄物の３Ｒ》

コンプライアンスの推進

前進企業を含めた１００年以上のインフラ事業の実績を通じて得た「安全・安心・品質の確保」を合言葉に、コンプライアンス方針、手順等の体制整備を行い、お客様の信頼にお応えしてまいります。

《具体的な取組み：総務部中心にハラスメントの禁止、
メンタルヘルスケアを実施、
情報セキュリティーポリシーを策定し、
個人情報管理を徹底》

４．インパクトの特定

①インパクトマッピングによるインパクト分布

名古屋銀行は事業性評価におけるビジネスモデル（非開示）により株式会社保坂工業所の主要、関連業種を特定し、UNEP　FI が推奨するインパクトマッピングからポジティブインパクト及びネガティブインパクトの分布を調査した。株式会社保坂工業所の業種カテゴリは多岐に渡る為、分布図は主要業種の掲載に限定する。

分布図中の「★★」は重要な影響があるカテゴリ、「★」は影響があるカテゴリを示す。株式会社保坂工業所の事業活動については「★★」「★」の影響をすべて検討する。川上・川下の事業活動については株式会社保坂工業所が直接関与できないため次の事項を検討する。ポジティブ面では川上・川下の事業でポジティブな影響の促進やネガティブな影響の緩和に株式会社保坂工業所の事業が貢献できることがないか検討する。ネガティブ面では川上・川下の事業において重要な影響があるか影響が及ぶ地域での対応のニーズが強いカテゴリについて、取引関係の管理などを通じて緩和に貢献できるか検討する。

分析の対象となる事業活動がインパクトマッピングの業種分類に含まれる特定の事業の場合、当該事業とは無関係なインパクトカテゴリについては検討しない。

「雇用」に関しては多くの事業においてポジティブ・ネガティブの両面の影響がある。全社的な人事戦略・雇用管理などの横断的な対応について別途検討する。

②インパクト分布図（掲載は主要業種のみ）

・川上、当社の事業

インパクトカテゴリ	川上の事業				同社事業									
	【 3520 】 ガス製造業、導管によるガス燃料配給業		【 8411 】 一般公務		【 3520 】 ガス製造業、導管によるガス燃料配給業		【 4220 】 公益工事業		【 4322 】 配管・暖房・空調設備工事業		【 4661 】 固形・液体・ガス燃料及び関連製品卸売業		【 4663 】 建築材料、金物類及び配管・暖房設備器具卸売業	
	Positive ポジティブ	Negative ネガティブ	Positive ポジティブ	Negative ネガティブ	Positive ポジティブ	Negative ネガティブ	Positive ポジティブ	Negative ネガティブ	Positive ポジティブ	Negative ネガティブ	Positive ポジティブ	Negative ネガティブ	Positive ポジティブ	Negative ネガティブ
水（入手）							★★		★★					
食料														
住居	★				★				★★		★		★	
健康・衛生	★	★★			★	★★		★	★				★	
教育														
雇用	★	★	★	★	★	★	★★	★	★	★	★	★	★	★
エネルギー	★★				★★		★						★	
移動手段											★			
情報							★							
文化・伝統								★★						
人格と人の安全保障			★★											
正義			★★											
強固な制度・平和・安定			★★	★★										
水（質）		★				★		★				★		★
大気		★				★		★		★		★		★
土壌		★				★		★				★		
生物多様性と生態系サービス		★★				★★		★				★		★
資源効率・安全性		★★				★★		★						
気候		★★		★		★★		★				★		★
廃棄物		★		★		★		★		★		★		★
包括的で健全な経済	★		★★		★		★★				★			
経済収束	★★				★★		★★	★						

当社は東邦ガスからの受注が売上げの多くを占めている為、川上の事業においては主にガス製造業、導管によるガス燃料配給業を抽出した。加えて、名古屋市や春日井市等の自治体のインフラ整備も行っている為、一般公務を川上の事業に掲載する。全体として環境面にネガティブインパクトが散見される一方で、ガス製造、ガス配給事業分野において住居、エネルギーにポジティブインパクトが見られる。

当社から川上の事業に対して能動的なアクションを起こすことは現実的ではないが、当社としての KPI にはこれらのインパクトを拡大、緩和するものを取入れる。

当社の主要業種である配管・暖房・空調設備工事業、ガス製造業・導管によるガス燃料配給業、配管・暖房・空調設備事業等においてインパクトを検証する。水、住居、健康・衛生、エネルギー、包括的で健全な経済等にポジティブインパクトが見られる。当社は長い業歴から多くの実績を有しており、確実な技術力と信頼から、公益工事業受注も当社の強みといえる。屋内配管工事では一般住宅等の幅広く多様なニーズに対し、用途に応じた様々な配管資材を使用し、メーター等の設備設置からガス管工事までトータルサポートが可能となっている

住居、エネルギーにおけるポジティブの拡大については、KPI において、マンション、戸建住宅を含めた施工実績の増加を目標として設定する。また、環境面のネガティブインパクトについては、工事における各種法令遵守の徹底や工事で発生する廃棄物の適正管理をしながら、自社職場の LED 化や紙資源の利用削減を実施することで緩和を図る。

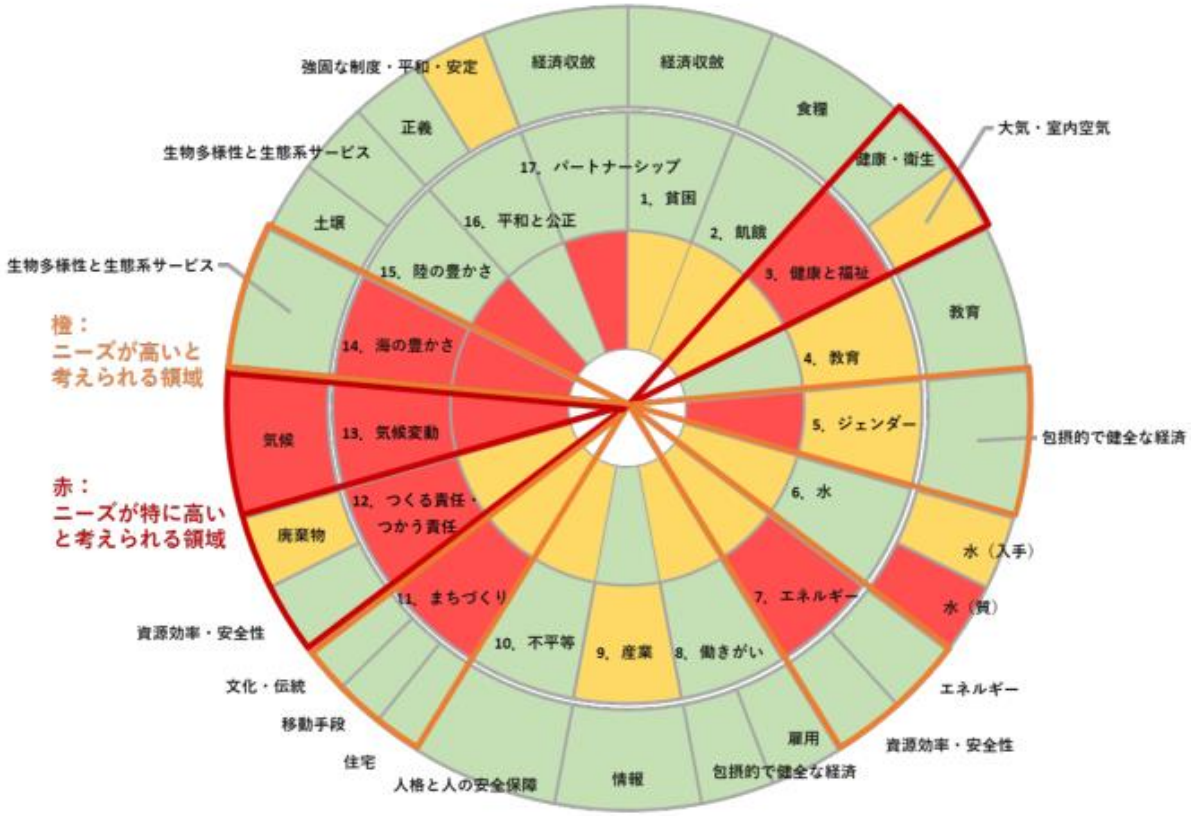
尚、特に重要なインパクトカテゴリと対応するＳＤＧｓのゴールは、下記の通りである。

※対応するＳＤＧｓのゴール

③国内のインパクトニーズ

環境省が策定した「インパクトファイナンスの基本的考え方」における国内のインパクトニーズは下記の図によって表される。特に取り組むべき SDGs を赤色、取り組むべきであるが不十分な SDGs を黄色、その他を緑色としているものである。

名古屋銀行が特定した株式会社保坂工業所のインパクトと対応する SDGs のゴール「3、6、7、8、9、11、12、13、14、15」に対して、全て赤色もしくは黄色のゴールに該当するものとなっており、国内のインパクトニーズとの整合的である。



５．測定するＫＰＩ

①持続的な経済成長（ポジティブ拡大）

項目	内容
インパクトの種類	社会面・経済面でポジティブインパクトを拡大
インパクトカテゴリ	「住居」「エネルギー」「包括的で健全な経済」「経済収束」
関連するＳＤＧｓ	
対応方針	インフラ整備によるくらしの充実、経済活動の基礎支え
ＫＰＩ	・2027年度決算期までに営業推進によりガス屋内配管工事及びその他の設備配管工事の売上高の総売上に占める割合を50%以上にする（実績開示）

②従業員のＱＯＬ向上（ポジティブ拡大・ネガティブ縮小）

項目	内容
インパクトの種類	社会面でポジティブインパクトを拡大 社会面でネガティブインパクトを縮小
インパクトカテゴリ	「雇用」「健康・衛生」
関連するＳＤＧｓ	
対応方針	働くモチベーション向上、従業員の福利厚生・労働環境の充実
ＫＰＩ	・2027年度決算期までに一人当たりの残業時間数を2021年度対比、20%削減する（取組開示） ・2027年度決算期までに従業員に健康意識の醸成を促し、健康診断の再受診率を向上させる（取組開示） ・2027年度決算期までに男性の育児休暇取得率を100%にする（実績開示）

③地域社会との連携、社会的意義の高い活動への参画（ポジティブ拡大）

項目	内容
インパクトの種類	社会面でポジティブインパクトを拡大
インパクトカテゴリ	「健康・衛生」「文化・伝統」
関連するＳＤＧｓ	
対応方針	地域との関わりを尊重、地元教育機関との地域社会発展へ向けた協力
ＫＰＩ	・FC ＤＲＥＡＭ（少年サッカーチーム）、名古屋ダイヤモンドドルフィンズ（Ｂリーグ）へのスポンサーを継続する（取組開示） ・地域社会のイベント（志段味区民まつり等）への協賛を実施する（取組開示） ・月2回の清掃活動を継続実施、交通整理・パトロール活動等の交通安全啓もう活動の実施（取組開示）

④温暖化防止策、廃棄物削減による環境配慮（ネガティブ縮小）

項目	内容
インパクトの種類	環境面でネガティブインパクトを縮小
インパクトカテゴリ	「資源効率・安全性」「気候」「廃棄物」
関連するＳＤＧｓ	
対応方針	廃棄物の削減、紙資源の削減による環境負荷軽減
ＫＰＩ	・2027年度決算期までに、デジタル化導入により紙の使用量を現行水準より20%削減する（実績開示） ・現状の廃棄物分別作業を継続、社員に対しても取組を周知する（実績開示） ・事業所及び全施設においてLEDの導入（取組開示）

６．インパクトの管理体制

株式会社保坂工業所は保坂社長を中心としてサステナビリティ経営充実の為の施策を各事業部及び総務部が連携してＳＤＧｓの施策を検討・実施・検証する体制が整っている。

めいぎんPIFにおけるインパクトについては、保坂社長と総務部が中心となり、管理・達成へ向けた施策を実施する。

インパクト管理者

最高責任者	代表取締役　保坂　光俊
管理責任者	総務部　足立　充慶
管理部署	総務部

７．モニタリング方法

株式会社保坂工業所に対するめいぎん PIF のモニタリングは、インパクト管理者と名古屋銀行の担当者（法人営業部サステナビリティ推進担当及び営業店担当者）により年 1 回以上の協議を通して実施する。年1回以上の協議は、下記のプロセスで行われる。

項目	内容
1.内容報告・実績開示	設定したKPIの達成度を確認する。
2.検証・精査	達成度について開示された情報を名古屋銀行が確認する。
3.修正の検討	達成度・進捗度を検証しKPIの修正を検討する。
4.追加の検討	形骸化を防ぐ為、KPIの追加や削除を検討する。

名古屋銀行は上記のプロセスにおいて、自行のサポート及びアドバイスを実施する。また、モニタリング実施状況については、株式会社格付投資情報センターに対し、包括的な年次レビューを受ける。

８．総括

株式会社保坂工業所の事業内容及びインパクト調査の結果、手がける事業それぞれにポジティブ及びネガティブな影響を確認した。株式会社保坂工業所が KPI 達成を目指すことで社内、地域社会及び地球環境全体への大きな貢献が想定され、UNEP FI の「ポジティブインパクト金融原則」、ＥＳＧ及びＳＤＧｓの観点からも十分な適合性を確認した。